

# 図書館だより

代々木中学校 2026. 7月号

7月

## 夏休み貸出始まりました!

〈期間〉 7/1 (水) ~ 7/17 (金)

〈返却期限〉 9/4 (金)

〈貸出冊数〉 20冊まで

夏休み、代々木中は移転期間に入り、学校図書館は閉館となります。

そのため今年の貸出数は20冊と多めです。日本の歴史(1~16)や世界の歴史(1~20)、ハリーポッターなどのシリーズ本などまとめて借りることが可能となっています。

このまたとない機会、たくさんの本と出会ってください。



—課題図書 3冊、貸出できます—

『リュウグウの砂に挑む』『君の火がゆらめいている』『チーム・テスならだいじょうぶ』

今月の展示本から  
「夏を舞台にした本」

『ある暗れた夏の朝』 請求記号 913.6 小手鞠い/作 偕成社/出版

内容紹介:アメリカの8人の高校生が、日本に対するアメリカの原子力爆弾投下の是非について、原爆肯定派と否定派に分かれて討論する。日系アメリカ人のメイは、否定派の1人として演壇に立ち白熱の論戦を繰り広げる。青春物語。

『ぼくらの七日間戦争』 請求記号 913.6 宗田理/作 ポプラ社/出版

内容紹介:夏休みを前にした1学期の終業式の日、東京下町にある中学校の1年2組の男子生徒全員が姿を消した。彼らは河川敷の廃工場に立てこもり、大人たちへの「叛乱」を起こしたのだ…。7日間に及ぶおとなたちとの大戦争を描く。

『この夏の星を見る』 請求記号 913.6 辻村深月/作 角川書店/出版

内容紹介:コロナ禍で登校や部活が制限される中、しかし出会いもあった。オンライン会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の中高生たち。「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らが狙うのは…。離れていても繋がる!同じ星を見ている!青春の一冊。

TRC TOOLi-S より引用